学校番号	219

令和5年度　　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校 新地理Ａ」（帝国書院）、「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「図説地理資料 世界の諸地域NOW 2022」（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図に親しむことにより空間認識能力を高める。
・地理的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・現代世界の出来事に興味を持ち、その自然的・歴史的背景を考える。

２　学習の到達目標

・現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、　地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 〔主題学習〕 振り返りシート	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 発表用レジュメ（パワーポイント）	定期考査 〔主題学習〕 内容のまとまり
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球儀や地図からとらえる現代世界	・球面で世界を考えよう ・世界地図の特徴を知ろう ・世界観の広がりと地図 ・国家の領域と領土問題 ・国家をこえた結びつき ・交通機関の発達と縮小する地球世界 ・情報・通信で一体化する世界 ・人・「もの」・資本で結びつく世界	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:グローバル化が進む現在では、地球という球面で考えていかなければならないことに関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:国境を越える人・「もの」・資本の移動とそれにともなう諸問題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地球儀上の位置の示し方や時差の計算、用途に応じた適切な図法の選択ができる。 d:地球儀や地図でとらえる現代世界の各主題について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	人間生活をとりまく環境	・さまざまな環境の中で暮らす人々 ・世界的視野から見た地形 ・さまざまな地形と生活 ・世界的視野から見た気候 ・世界の気候と生活 ・世界の民族・宗教と生活・文化 ・生活・文化を支える産業の地域性	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:世界の自然環境は地域的に大きく異なっていることとその理由について、関心をもって学習している。 b:世界の民族・宗教と生活・文化、産業の地域性について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:雨温図を作成する作業をとおして、世界を各気候区分に分類する技術を養う。 d:世界の地形・気候の成り立ちや、基本的な用語を理解している。	定期考査 ワークシート
2学期	世界の諸地域の生活・文化	・中国の生活・文化 ・韓国の生活・文化 ・東南アジアの生活・文化 ・南アジアの生活・文化 ・中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 ・サハラ以南のアフリカの生活・文化 ・ヨーロッパの生活・文化 ・ロシアの生活・文化 ・アングロアメリカの生活・文化 ・ラテンアメリカの生活・文化 ・オーストラリアの生活・文化	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:世界の諸地域の人々の生活・文化は、その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けていることに関心をもって学習している。 b:世界の諸地域が現在抱えている経済、民族、環境に関わる問題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:教科書に掲載されている主題図や、グラフ、写真を適切に読み解く技術を身につけている。 d:世界の諸地域について、地域性を特徴づける自然環境、産業、生活・文化等に関する正しい知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	地球的課題と私たち	・地域の違いとつながりに注目する。 ・人口問題 ・食料問題 ・都市・居住問題 ・資源・エネルギー問題 ・地球環境問題 ・地球的課題への取り組みと国際協力	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し、国際協力について、グローバルに考える視点と身近な問題として考える視点を身につけている。 b:地球的諸課題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:人口ピラミッドを作成する作業をとおして、社会の発展に応じてその型が変化することを理解している。 d:地球的諸課題の原因、現状、解決策に関する正しい知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

3学期	身近にあるさまざまな地図	・身近な地図とその特色 ・GISのしくみと支える技術 ・目的に合わせた地図の作成	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	a:観光地図など、教科書に掲載されている地図を、関心をもって参照し、地図を読むことの楽しさを理解している。 b:地図は作成者の意図により情報が取捨選択されていることを知り、目的に応じた地図の選択や、その改良点について考察している。 c:新旧地形図の比較から地域の変化を読み取る技術や電子国土基本図の利用のしかたを身につけている。 d:地形図の決まりごとや記号の意味を正しく理解できている。	定期考査 ワークシート
	日本の自然環境と防災	・日本の自然環境 ・さまざまな自然災害と防災	○ ○	○ ○	○	○	a:日本では、これまでさまざまな自然災害が繰り返されてきたことを知り、日常的に防災を意識する態度を身につけている。 b:伝統的な災害対策について学び、現在の防災に活かす方法について考察している。 c:ハザードマップの読み取りなどをとおして個々の防災力を高めるようとりくんでいる。 d:日本の気候と地形の特徴について正しい知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	身近な地域の課題と地域調査	・調査テーマの設定 ・現地調査の実施と分析 ・調査結果のまとめと発表	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○	a:日頃から地域の特徴や課題に関心をもつ態度を身につけている。 b:適切なテーマの設定と、必要な調査について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:集めた情報を整理・分析し、図化する技術を身につけている。 d:地図、統計、書籍などをもとに事前に地域の全体像を把握できている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識・理解
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。